

永年勤続表彰受賞者

*三〇年以上

- 総務企画部 技 藤原将勉
- 総務企画部 技 大崎景悟
- 計画保全部 技 戸島勝文
- 森林整備部 技 橋口福男
- 森林整備部 技 下岡 豊
- 森林整備部 技 渡辺督巳
- 徳島署 技 森 裕一
- 愛媛署 技 武内慈明
- 技 坂本伸一郎
- 四万十署 技 坂本行規
- 嶺北署 技 増原俊光
- 技 上岡徹也
- 技 江入力男
- 高知中部署 技 鷹野孝司

*二〇年以上

- 総務企画部 技 帆足忠広
- 計画保全部 技 増田尚一
- 計画保全部 技 稲澤るみ
- 香川所 技 山崎賢一
- 愛媛署 技 松本純司

四万十署 技 岡本英典

嶺北署 技 西村知己

高知中部署 事 片岡誠人

事 中尾佳代

安芸署 技 高岡英司

林野庁共済組合

*三〇年以上

総務企画部 (共済職員)

宮崎義浩



農林水産省職員永年勤続表彰式

職員永年勤続表彰

各地のたより



六月二〇日、高知県宿毛市立小筑紫小学校の五年生二〇名を対象に、森林の働きや校庭の樹木学習と



校庭の樹木学習

樹名板の作製を行いました。この学校での森林教室は昨年に引き続きの実施です。

まず最初に、森林の大切

な働きである「水を蓄える働き」「土砂崩れを防ぐ働き」「地球の環境を守る働き」等について説明し、その後、技術普及課作製の下敷き「いろいろな木と葉っぱ」を使用し、広葉樹と針葉樹の違いや単葉と複葉の特徴、葉のつき方など基礎知識を学んだ後、校庭に出て、学校に植えられている約三〇種類の樹木について、葉や花を見たり葉に触れたりして、それぞれの樹木の名前や特徴を二班に分

かれて学習しました。そして、ヒノキの輪切り材に、ポスターカラーで和名と科名を書き、余白には、思いのイラストを描いて、樹名板を完成させ、後日それぞれの樹木に取り付けました。

今後、七月に「空飛ぶ種子」二学期には、「森林土壌の仕組みや働き等」の学習や「八面山登山」を予定しています。



完成した樹名板

さまざまな学習を通して森林や自然への興味や関心が増し、森林の大切さについて理解が深まることを期待しています。



愛媛県松野町立松野西小学校の四年生は、毎年度「総合的な学習の時間」を利用して森林や樹木の学習を年間を通して実施しており、今年度も二二名の生徒を対象に六月二六日に「校庭の樹木」の学習を行いました。まず最初に、ふれあい推進センターが行っている主な業務について説明しました。

その後、教室で技術普及

課が作製した下敷き「いろいろな木と葉っぱ」を使用し、「広葉樹と針葉樹の違い」や単葉と複葉の特徴、葉のつき方など基礎知識を学んだ後、校庭に出て、学校に植えられている約三〇種類の樹木について、葉や花を見たり葉に触れたり臭いを嗅いだりして、それぞれの

樹木の名前や特徴を二班に分かれて学習しました。そ



葉っぱの臭いで特徴を学習

完成した樹名板



して、ヒノキの輪切り材に、ポスターカラーで和名と科名を書き、余白には、思いのイラストを描いて、樹名板を完成させ、後日それぞれの樹木に取り付けました。

今後、七月に「空飛ぶ種子」二学期には、「森林土壌の仕組みや働き等」「八面山登山」「炭」について学習する予定です。

さまざまな学習を通して森林や自然への興味や関心が増し、森林の大切さについて理解が深まることを期待しています。



六月二四日、高知県土佐清水市立清水小学校の五年生五二名、七月一日に宿毛市立小筑紫小学校の五年生二〇名、七月一日には、愛媛県松野町立松野西小学校四年生二二名を対象に、森林教室「空飛ぶ種子」をそれぞれ実施しました。

まず、植物がどのような方法を使って種子を散布するのかを学習します。

風を使って飛ばす植物、

動物に実を食べさせたり、種子を付着させたりする植物、水に浮いたり漂わせたりの植物、さやがはじけたりドングリのように転がしたりする植物など、植物がさまざまな方法で種子を散布することをパワーポイントを使って紹介しました。

また、「マツ」や「テイカカズラ」の種子は、実物と風洞実験装置を使ってぐるぐる回りながら飛ぶ様



清水小学校・種子の模型を作製中

子を観察しました。

大きな翼を持つ種子「アルソミトラ」(東南アジア産のウリ科の植物)がグライダーのようにふわふわと飛ぶ様子には、「オー」と驚きの声が上がりました。

次に、「アルソミトラ」や「マツ」、「ニワウルシ」「ラワン」の種子の模型を色紙やスチレンシート等を使って作りました。



小筑紫小学校・風洞実験中

松野西小学校・種子の模型を作製中



スチレンシートで作ったラワンの種子模型を輪ゴムで飛ばすと体育館の天井近くまで上がり、くるくると回りながら落ちてくる様子に「おもしろい」と何度も飛ばしていました。

今回の学習を通じて、植物や自然に興味を持ってもらえたものと確信しています。



七月七日、高知県土佐清水市立中浜小学校で本年度二回目の全校生徒二五名を対象に木工クラフト教室を行いました。

最初は、木工クラフトに入る前に、「木材の特徴」と題して、「大昔から木は生活の道具として使われてきたこと」、「木は方向によって強さに違いがあること」、「木はその特徴を生かしている物に使われていること。」などをパワーポイント等を使って学習しました。

その後、ヤマザクラやミズメ等の小枝などを使っ

て、一年生から三年生までは、事前に各パーツに加工したものを使って『コロコロゲーム』や『チョウとテントウムシ』等を作製しました。

また、四〜六年生は、各々の想像力を生かし、鋸やナイフを使い小枝等を加工して世界で一つだけの作品を作製しました。

大半の子どもは、鋸をあまり使用した事が無く、最



低学年の作製の様子

高学年の作製の様子



初は緊張していましたが、鋸を引く時の力加減などを教えるとすぐに覚え、次々と太さが違う小枝を一定の幅に切り揃えていました。どの子も真剣な表情で取り組み、完成した作品を見せ合って、満足そうな表情を浮かべていたのが印象的でした。



七月八日、愛媛県松野町立松野東小学校の五・六年生一二名を対象に、森林教室を行いました。

最初は、「森林の大切な働き」について、パワーポイントを使用し、森林には「水を蓄える」、「山崩れを防ぐ」、「快適な環境を作る」、「地球の環境を守る」など七つの働きがあることを学習しました。また、技術普及課作製の下敷「森林の大切な働き」を生徒に配布し、森林の七つの働きを理解してもらいました。

その後、あらかじめ児童がこれまで学んだことや興味を持っている中から考えた質問「森林資源の有効活用」「人工林と天然林の違い」など一五問について回答し、森林の木材としての利用価値等について、知ってもらいました。

今後、九月下旬に全校児童による「三本杭登山」を実施する予定で、さまざまな学習を通して森林や自然、林業などについての理解を深めてもらいたいと思います。



森林の大切な働き



六月二九日、徳島県と高知県境に位置する三嶺国有林三六林班イ小班内のオオヤマレンゲ群生地において、三好市、剣山クラブ及び三好山歩会のボランティアの皆さんと防鹿ネット補修作業などを行いました。

当箇所は、徳島県の絶滅危惧Ⅱ類に指定されているオオヤマレンゲが群生しており、四国最大級の群生地



オオヤマレンゲ

とも言われています。平成二四年度には、三好市の天然記念物にも指定されました。

早朝から約三時間をかけて登山した総勢二八名の参加者は疲れも見せず、木製看板など標識類の設置、ネットの点検補修の二班に分かれて作業を始めました。

当日は梅雨の中休みで天候にも恵まれ、和気あいあいと賑やかに作業は進められ、三時間ほどで初期の作業を終えました。

剣山周辺はニホンジカによる食害が著しく、下草はもとより樹皮剥ぎ被害も深刻な状況となっています。

ネットの設置などにより、登山者の皆様には林内の散策などが制限され、ご迷惑をおかけしている状

況ですが、貴重な植生を残すために皆様のご理解ご協力を得ながら、今後も三好市と連携・協力し、作業を継続したいと考えています。



防鹿ネット補修作業



ボランティア参加者の皆様